



発行所
 十勝毎日新聞社
 ©十勝毎日新聞社 2005
 〒080-8688
 帯広市東1条南8丁目
 TEL(代表)0155-22-2121
 集局 0155-22-2121
 広告局 0155-23-2323
 販売局 0155-24-2222
 事業局 0155-22-7555
 総務局 0155-24-2299
 広尾支局 01558-2-4111
 池田支局 01557-2-2367
 本別支局 01562-2-2618
 新得支局 01566-4-5524
 札幌支社 011-261-2161
 東京支社 03-3544-1365



超小型衛星を搭載して打ち上げられたCAMUI型ハイブリッドロケット(12日午後5時23分、中山彩撮影)

超小型衛星放出に成功

大樹でロケット
打ち上げ実験

【大樹】北海道大学と、北海道工業大学の研究者グループによる超小型衛星搭載ハイブリッドロケットの打ち上げ実験(NPO法人北海道宇宙科学技術創成センターHASTICIIなど)主

両大学による同町での打ち上げ実験は2001年から毎年行われ、4回目の今年は大開発の「CAMUI(統制多段衝突噴流)型と呼ばれる高推力ハイブリッドロケットに、300ミリ缶を使用し、道大製作の超小型衛星「CanSAT(カンサット)」を搭載。ロケットは今回初めて道内の民間企業が製作した。到達高度を約900メートルとし、タイマー制御で機体の分離成功を示す黄色いパラシュートとつが

それぞれパラシュートを開いて落下させる。衛星にはGPS(衛星測位システム)や通信装置を積み、位置測定や地上との無線通信を可能にした。ロケットは日没間際の午後5時23分に打ち上げられ、エンジン音を響かせてまたたく間に姿を消した。発射約10秒後、衛星の分離成功を示す黄色いパラシュートとつが

空に浮かぶと、研究者らの歓声が上がった。機体回収やデータ取得も順調に進み、北大の永田晴紀、道大の三橋龍一両助教授は「完璧。ここまでのまへへ」とは興奮気味。HASTICの伊藤敏一専務も「産業化への大きな前進」と笑顔を見せた。同日実施予定だった東海大学研究者による自作ハイブリッドロケットの打ち上げは通信系統トラブルで13日に延期され、こちらも午後1時55分、無事成功。最高到達点は約550メートルで機体も完全回収した。(森田匡彦)